

地域学校保健委員会だより

令和2年 2月 6日
津幡町学校保健部会

1月 23日（木）、文部科学省委託事業を県のモデル地域に指定され、津幡町小中学校合同の地域学校保健委員会をシグナスにて開催しました。学校教職員の他、学校三師の先生方、近隣の保育園等や高等学校、地域の関係機関、PTA 関係者の方々に参加していただき、新潟大学大学院医歯学総合研究科教授、葭原明弘先生のご講演を聞きました。



生涯にわたって、自ら歯と口の健康づくりをしていく児童生徒を育成するために ～校種でつなぐ歯科保健の推進～

【提案】「津幡町の歯科保健の現状と課題」津幡町学校保健部会

- ・津幡町のむし歯のある児童生徒の割合は、小中学校共に石川県・全国よりも少ない。しかし、むし歯の治療率は、河北郡市内で一番低い。
- ・平成 30 年度の地域学校保健委員会では、成人の歯科受診率が 10%と低いことや、むし歯を病気ではないと思っている人が多いこと、子どもに指導する大人（保護者・職員）への知識の定着が大切であること等、大人の意識に対しての意見が出された。



⇒ **大人の意識改革が必要**



【講演】

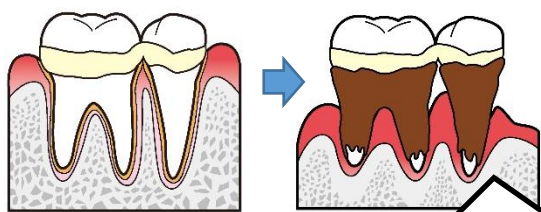
「地域でつなぐ歯科保健の推進～大人も聞きたい歯と口の話～」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授 葭原 明弘 氏



葭原先生から、「**歯の健康は小さな話ではない**」との言葉がありました。歯や口の健康は、全身の健康とつながっています。貴重なお話の中から、一部を紹介します。

<歯周病が進むと、歯が抜ける>



◆歯を失う原因は、むし歯が約4割、歯周病が約4割

◆日本の8020達成率は51.2%

石川県の8020達成率は・・・**26.1%**

(ともに平成28年度時点)

歯を支える骨が溶けていく

※むし歯を治した歯の部分が、歯周病になることも多い・・・**子どもの頃からのむし歯予防が大切!**

<歯が抜けると、生活習慣病にかかりやすい>

歯が抜け、しっかりとかめなくなると、肉や魚、野菜などが食べられなくなる。反対に、食べやすいごはんやうどんなどの食べる量が増える。

⇒ 栄養のバランスが悪くなり、**生活習慣病**にかかりやすくなってしまいます。

<フロスや歯間ブラシの使用を>

歯肉炎や歯周病が発生するのは、歯と歯の間が80%以上。**フロスや歯間ブラシの使用が重要。**



血が出る場合は、炎症が起こっている。
血が出るからといって使用をやめては、改善しない。

※子どもの場合は、歯肉炎予防が大切

歯肉炎の状態を見分けられるかがポイント。違いがわかり、ていねいにみがくことで、歯肉炎は改善される。

<大人も子どもも歯科医院の定期受診を>

中学生までは、むし歯などで歯科医院に行く機会が多いが、高校生くらいから受診しない人が増える。

歯周病については、定期的に受診しコントロールされていれば、進行を防げる。また、**定期的に歯科医院を受診している人の方が、寿命が長い！**

☆**将来の歯の健康、全身の健康のためには、子どもの頃からのむし歯予防が大切。**

☆**大人も子どもも、フロスの使用と歯科医院の定期受診を。**



歯科保健を向上させていくために

☆ライフコースアプローチ（小さい頃から高齢者まで、継続したアプローチ）をしていく。

☆地域の住民同士や、子どもたち同士でつながり、高め合っていくことも重要！

<参加者の感想から、今後それぞれが取り組んでいくヒントが得られました！>

連携し、継続したアプローチを

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健の推進を、<u>保護者や学校医の先生方と連携して</u>取り組みたい。 ・町内全ての学校で、<u>子どもたちにフロス指導をし、使用できるようにする。</u> ・学校でも給食後の歯みがきの際にフロスの使用を取り入れたい。 ・歯科受診を、<u>職員全体で呼びかけていく。</u> ・〇〇プロジェクトのような楽しんで取り組めるようなネーミングで、<u>地域全体で歯科保健に取り組みたい。</u>
学校三師	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師が地域に出て活動を行う取組が素晴らしい。 ・<u>学校を啓発の機会とし、学校と協力して子どもたちの健康を向上させる。</u>
地域関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の歯で食べておいしさを感じるには小さいころからの取組が大切。 ・<u>学校、地域の皆さんと連携しながら歯科保健について考えていく。</u>
幼・保・こども園	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>保護者にも歯の大切さや予防を知らせ、子どもの時期にむし歯を作らないようにしていきたい。</u> ・保護者と一緒にむし歯予防に取り組む。 ・フロスや歯間ブラシの使用や、定期受診の必要性を保健だよりで知らせる。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防のためにも今後は、<u>フロスや歯間ブラシを使って家族みんなで口の中を健康にしていきたい。</u> ・<u>親も子どもと一緒に定期受診しようと思う。</u> ・子どもが独り立ちするときには<u>歯科の定期受診は大切と伝えたい。</u>

